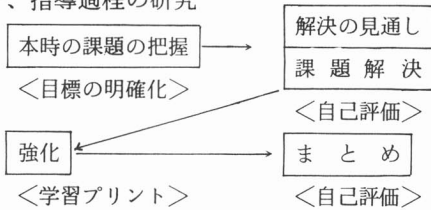


オ、指導過程の研究



② 検証授業計画

ア、単元名 「方程式」

イ、指導計画 (総時数 14時間)

1. 準備テスト・事前テスト ————— 1
2. 方程式 ————— 2
3. 方程式の解法 ————— 9
  - (1) 等式の性質……………(1)
  - (2) 等式の性質と方程式の解き方……(1)
  - (3) 1次方程式の解き方……………(5)
    - ① 移項を用いた方程式の解き方…①
    - ②  $ax + b = cx + d$  の形の方程式の解き方 ……………①
    - ③ かっこのある方程式の解き方…①本時
    - ④ 小数をふくむ方程式の解き方…①
    - ⑤ 分数をふくむ方程式の解き方…①
4. 問題練習・事後テスト ————— 2

ウ、本時の指導

(ア) 題材 1次方程式の解き方

(イ) 本時のねらい

かっこのある1次方程式を、分配法則を使ってかっこをはずして、解くことができるようにさせる。

(ウ) 指導過程

段階	学習内容・活動	時間	指導上の留意点◎反説との関連
課題把握	1. 前時の学習内容について復習する。 ○ $x + 3 = 6 - 2x$ ・ 移項 ・ 同類項の計算 ・ 等式の性質(4) 2. 本時の課題を確認する	5	○ 移項のしかたを確かめながらすすめる。 ◎ 前時の「自己評価票」の結果を参考にし、下位の生徒を指名する。 ○ ノートにきちんと書かせ課題をいっそう明確にさせる。

解決の見通し・課題の解決	3. 本時の課題の見通しを立て、解く。 $2(x+1) = x+5$ (1) 解法手順を考える。 (2) 問題を解く。 (3) 解き方を発表する。 4. 類似問題を解き、手順を確認する。 ○ $3(x-5) = 5x+1$ ○ $4(x+3) = 7x-9$ 5. 練習問題を解き、どこがつかずしているのか自己評価する。 ○ $4(x+2) = 10$ ○ $5(x-3) = 2x+3$	20	○ かっこをはずすと、既習の方程式となることに気付かせたい。 ○ まちがいは指摘しあうようにさせる。 ○ 分配法則の適用にあたっては、特にかっこをはずす時、符号に注意する。 ○ 一斉に解き方を確認しながらすすめる。 ◎ 各自のつまずき、到達度を明らかにして、自己評価票に記入していく。
強化	6. 練習問題の到達度により、学習プリントで、コース別学習をする。 ○ 2問正解 ……Cコース ○ 1問正解 ……Bコース ○ 0問正解 ……Aコース	15	◎ コース別学習で、個に応じた学習をさせることにより、解決に習熟させ学力の定着を図りたい。 ○ A、Bコースでは、はじめに補充問題を解かせ、つまずきを解消させるようにする。 ○ 机間巡視をし、個別指導をする。
まとめ	7. 本時のまとめをする。 (1) 確認テストの問題を解く。 ○ $2(x+3) = x+8$ ○ $3(x-2) = 6-x$ (2) かっこのある方程式の解法手順を再確認する。 8. 自己評価をする。 ○ 学習態度 ○ 理解度 ○ 確認テストの結果 9. 次時の課題を知る。	10	○ 本時のねらいが達成できたか確認させる。 ◎ 基本的な問題を出題し一人一人の生徒に成就感を味わわせたい。 ○ 下位の生徒に解法手順を発表させ、まとめをする。 ◎ 自己評価票に記入させ本時の学習態度をふり返らせるとともに、次時の学習意欲をかん起させたい。

(2) 検証と考察

① 検証の観点

ア、毎時間自己評価を行うことによって、自己のつまずきがわかり、また、学習態度を反省し、意欲的に学習にとりくむようになったか。

イ、学習プリントで個に応じたコース別学習をすることによって、意欲的に学習にとりくむようになったか。

ウ、学習内容を理解し、学力が定着したか。

② 授業の考察

ア、課題が容易であったので、課題解決の見通しは簡単に立てられた。